



# とびら



第18号

2019. 2

平成31年1月6日 消防出初式

## 【主な内容】

開催しました！	議会報告会	2ページ
	第2回 子ども議会	4ページ



# 議会報告会

## 良川地区

11月29日 ラポールよしかわ



### 質問 伝統的建造物群保存対策事業

調査、進捗状況はどうか。

**議員 回答** 平成30年4月30日に8名の委員により調査委員会が設置されました。対象物件は47件で各物件の歴史的价值について調査をしており、現在までに30件が調査済となっております。今年度の調査費は300万円（内訳 国150県30 町120）で、保存地区の指定を受

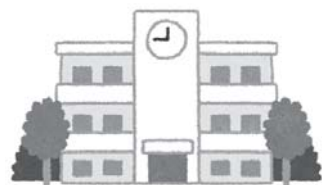
けることができれば国からの補助金等、様々なメリットが考えられるとのことです。

### 質問 統合庁舎について

庁舎統合建設特別委員会の非公開の開催は、<sup>※1</sup>中能登町議会基本条例第5条に矛盾しないか。また、ラピア鹿島周辺での新築案を答申した議会の旧鹿西中学校舎の具体的活用策は。

**議員 回答** 原則公開だが、<sup>※2</sup>案件によっては議会の議決をもって非公開にできます。

これまでの非公開は、執行部より、町民の皆様へ周知できる段階になく、またそのタイミングでもないとの説明を受けたことによるものです。現在は、公開を原則に取り組んでいます。また、旧鹿西中学校活用案に関しては、年度内には決めたいと考えています。



## 鹿島地区 老人クラブ連合会

1月18日 ラピア鹿島



### 質問 カーブミラーの補修・管理について

汚れや向きの不適切なものがあり、早急に対応してもらいたい。

**議員 回答** カーブミラーの汚れ等の補修については、区長を通して、区の要望として町に要望して下さい。町が現場を確認し、緊急性や安全性等を考慮した上で、順次、補修等を行います。向きの不適切なものについては、役場総務課にご連絡ください。

町内のカーブミラーについては、国

## 能登部下地区

11月30日 能登部下集会所



### 質問 子育て応援の政策が逆行気味、議会のチェックは。

**議員 回答** 児童館については、今春、町内9施設から3施設に統合いたしました。昨年度は、「のとべ児童館」で一日平均4人の利用があり、厚生員1名で運営管理をしていましたが、今年度では名称変更した「ろくせい児童館」では一日平均18人の利用があり、厚生員2名で運営管理をしており、一定の成果がでていっていると聞いております。

## その他の主な質問

- ・良川地区
- ・若い世代の議会進出
- ・町倫理条例

### 能登部下地区

- ・議会行革・活性化特別委員会
- ・庁舎統合
- ・防災対策
- ・農業問題

### 鹿島地区老人クラブ連合会

- ・イノシシ被害対策の強化
- ・庁舎問題の現状
- ・消雪装置の設置工事
- ・各議員の活動方針

記載のほかにもたくさんの方の質問をいただきました。ありがとうございました。

中能登町議会ではさらに議会報告会を重ねて、皆さんの意見交換を行い、住みよい町づくりの一助となるようにしていきたいと思っております。ご参加をよろしくお願いたします。



放課後児童クラブについては、児童館の統合に先行して、昨年7月に鹿西小学校から、約1.5km離れた場所にあった「ろくせい放課後児童クラブ」を、鹿西小学校体育館内に移転し、利便性と安全性からも放課後児童対策が図られたものと思っております。

次に、保育園再編については、町内には公立が5園、私立が1園ありますが、中能登町公共施設等総合管理計画も策定され、今後、民営化も含めて検討がされていく予定と聞いております。

今回の児童館や放課後児童クラブ、保育園のことでなく、役場庁舎や図書館など、様々な公共施設の適正化を行うことによって、身の丈に合った行政運営が継続可能となるということを、議会としても認識しながら、今後もチェック機能を果たしていきたいと考えております。



総務建設常任委員会



教育民生常任委員会



# ようこそ議会へ

## 第2回 中能登町子ども議会

12月10日、町内3小学校の6年生約140名が鳥屋庁舎に集まり、「第2回子ども議会」が開催されました。昨年の第1回では中学3年生を対象に行い好評をいただき、より多くの世代の子どもたちに町政への関心を高め、議会の仕組みを学んでもらうために行われました。議場では本会議さながらに質問席に立ち、執行部に向かって「今がんばっていること」が発表されました。常任委員会で、議会は小学校でいう「児童会」みたいなもの、という説明を聞くと納得してうなずいていました。2つに分かれて開かれた常任委員会では議員へさまざまな鋭い質問があがりました。

## 子どもたちからの質問

- 健康で幸福な生活を送るために、中能登町では今、どのような取り組みに力を入れていますか？
- 中能登町の小学校や中学校においての、教育の推進について、今、どんな取り組みに力を入れているのですか？
- 「税金はみんなで使うお金」で「絶対になくってはならないもの」と学習しました。中能登町では税金について、どのような方向性を持って取り組みをしていますか？
- 中能登町にある建物で建てるのに一番お金がかかった建物は何ですか？
- 議員になるために特に頑張った教科は何ですか？







Q 詳細な説明を求める。

中学校生徒

通学費補助  
302万4千円  
増額補正

A 路線バスとJR通学者への補助金となっている。委員からは、申請したならば利用するよう指導すべきとの意見をいただき、アンケートなどをとりながら利用促進に向けて努力する。  
(担当課：教育文化課)



Q ニーズ調査について詳細な説明を求める。

子育て

計画策定  
ニーズ調査  
委託料

A 子ども子育て支援法に基づく計画で、策定にあたり、事前に保護者のニーズを把握して計画策定したいことから実施するもの。  
(担当課：住民福祉課)

Q 助成の対象者と接種者数を尋ねる。

任意予防接種

風しん  
と  
おたふくかぜ

A 風しんの対象者は成人で、接種者は18人。おたふくかぜの対象者は1歳から就学前までの児童が対象で、83人の接種があった。  
(担当課：保健環境課)

12月定例会議

昨年の1月末には寒波による水道の断水、8月31日から9月1日にかけての豪雨や9月4日の台風21号などによる被害がありました。全国的にみても、1月から3月にかけての豪雨、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震、そして数多く発生した台風被害など、日本列島の至るところでさまざまな災害が発生しました。日頃の備えの大切さを痛感する1年であったと思います。

そのような中、平成30年の12月定例会議を開催し、議案14件が上程され、12件を全会一致で、2件を賛成多数で可決しました。また諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦1件についても適任としました。



県議会議員選挙

ポスター掲示板  
設置  
21万3千円の  
減額補正

Q 設置場所が減ったのか。また、期日前投票所に商業施設が含まれるか。

A 設置場所数に増減はない。また、商業施設に期日前投票所を設置する予定である。  
(担当課：総務課)

Q 軽減措置にかかる増額とのことだが、その対象人数と増額理由はなにか。

A 軽減措置対象者は、7割軽減1700人、5割軽減495人、2割軽減267人で、所得額確定により軽減額が増加し増額補正となった。  
(担当課：保健環境課)

後期高齢者医療

保険基盤安定  
負担金  
200万円  
増額補正

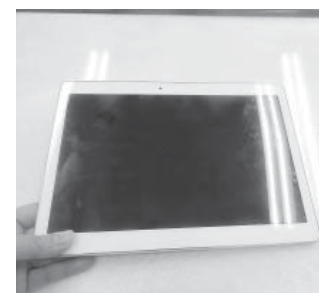


# 12名の議員が登壇し質問する



【町長】平成29年度の定例会議や随時会議の資料に約3万枚の紙が印刷され、印刷コスト、配布の手間の削減が課題だと認識している。高速印刷機の導入、印刷製本のコスト低減や時間短縮を図っているが、ペーパーレス化の対策としてタブレット導入も一つの案として検討している。

ただ、タブレットは便利なものではあるが、会議が長時間に及ぶ場合のバッテリーやシステムに不具合が生じた時の会議中断が懸念される。これらへの対応が



タブレットの利用でペーパーレス化を

【その他の質問】耕作放棄地解消と担い手確保にむけた基盤整備▼議員報酬

【作問】先般、議会運営委員会や議会放映に関し、神奈川県葉山町へ視察研修に伺った。対応された議員全てがタブレットを使用され、既に必需品だとの指摘も受け、それを痛感した。県内では内灘町が町からの貸与として導入しており、当町でも貸与での導入を検討していたのであれば、我々も使いたい。こなせるよう努力する。



作問 七郎 議員

**問 議会にタブレットを導入せよ**  
**答 一つの案として検討している**

タブレット導入に踏み切れない要因だが、これらの課題を解決できれば導入を進めたい。



坂井 幸雄 議員

**問 金大キャンパスビジットの継続を**  
**答 進路選択を目的に継続したい**

【坂井】中学生の金大キャンパスビジットは、生徒の進路選択や働くための資質を培うためには有効だと考えるが、継続の可否について伺う。

【坂井】小学校3・4年生と5・6年生の英語学習の課程について伺う。

【教育長】3・4年生の英語学習は年間20時間で、対話に重点をおく。5・6年生は55時間で、書くこと読むが加わり、コミュニケーション能力の育成を図っている。

【坂井】小学校低学年のランドセル軽量化について伺う。

【教育長】家庭学習で使用予定のない教科書等は、学校に置いて帰る「置き勉」を認める。



広いキャンパスを訪れる

# 12月定例会議 採決の結果

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案成立の可否が決定します。



## 全議員が賛成して可決された主な議案 (議長は、採決には加わりません。)

結果	町長提出議案
可決	中能登町情報公開条例の全部改正について <b>内容</b> ▶ 行政機関の保有する情報の公開に関する法律の一部が改正され、個人情報の定義が明確になり、また、用語の定義や制度の運用等の規定についても法に準じた内容とするため改正を行うもの。

## 賛否が分かれた議案 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

結果	議案名	議員名										
		古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	中川秀平	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
<b>町長提出議案</b>												
可決	中能登町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について <b>内容</b> ▶ 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、議会議員の期末手当の支給月数を年間0.05ヵ月分引き上げる改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	中能登町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について <b>内容</b> ▶ 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、常勤の特別職の職員の期末手当の支給月数を年間0.05ヵ月分引き上げる改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

結果	議会提出議案
可決	議員派遣について
可決	教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書

## 付託された常任委員会での請願の採択結果

請願	付託委員会採択結果
請願者：石川県教職員組合 執行委員長 船塚俊克 紹介議員：林 真弥議員 教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書採択の要請について	教育民生常任委員会採択



### 問 ジェネリック医薬品を利用促進せよ

答 更なる普及促進に取り組み



土本 稔 議員

〔王本〕 ①医療費が年々増加しているが、基本的な対策を伺う。②医療費抑制にはジェネリック医薬品の利用促進が重要と考えるが、対応を伺う。

〔王本〕 加入者が全てジェネリックを使用した場合、町負担の差額はいくらか。

〔保健環境課長〕 年間の概算で、国保で約3千600万円、後期高齢者医療で約9千600万円の差額となる。

〔町長〕 ①病気が重症化すると医療費も高額となるため、早期発見と重症化を予防する保健指導や特定健診にも力を入れている。また、生活習慣病を抑制することで重症化を防ぎ、医療費抑制を図りたい。

〔王本〕 ジェネリック医薬品の使用で、年間約1億3千200万円を削減できる計算となる。医療費の増加が他人事ではないという意識改革ができればと切に願う。

その他の質問▼中能登スローリズム

②国のジェネリック利用目標は80%だが、町の利用率は、国保加入者で約79%、後期高齢者医療制度加入者で約68%となっている。目標を上回るように、被保険者証の一齐更新時には、希望シール等を同封するとともに、七尾市医師会にも普及促進をお願いする。

〔町長〕 ①10月末現在で町が把握している農作物への被害額は、約118万円である。②12月6日現在、成獣145頭、幼獣129頭で、昨年度1年間の202頭と比べ72頭の増である。③処分は、捕獲者と地区の大きな

### 問 イノシシ処理施設新設を検討せよ

答 七尾市との今後の課題としたい



南 昭榮 議員

〔南〕 最近、イノシシの目撃情報が相次いでいるとの報道があった。当町でも増え続けている現状を踏まえ、①今年度のイノシシによる農作物への被害金額、②成獣・幼獣の捕獲数、③既設の獣肉処理施設へ持ち込んでも処理が追いつかず、受け付けてくれない状況だ。町独自の処理施設もしくは七尾市との共同施設新設への協議、④肉を地元の方に安価で美味しく食べ

ていただくため、消費と流通拡大の推進、の4点を聞く。

その他の質問▼桜苗木の各地区での植樹計画



捕獲されたイノシシ

### 問 LGBTへの理解と支援を!

答 取り組みを検討する



笹川 広美 議員

〔笹川〕 一人ひとりが自分らしく生きられる社会を目指し、①LGBTの相談・支援体制の整備、②職員研修、③町民への啓発、④法的証明書類の見直しとパートナーシップ証明制度の導入を促進すべきではないか。

画、人権に関する計画や自殺対策計画にもLGBTの取り組みを明確にすべきではないか。

〔企画課長〕 男女共同参画基本計画では第3期計画策定時に見直しを行いたい。

〔参事兼住民福祉課長〕 町の総合計画と一体となった人権計画には、人権問題として記載している。

〔保健環境課長〕 自殺対策計画については、協議会で意見を聞きながら進めたい。

その他の質問▼高齢者肺炎球菌ワクチン未接種者の救済措置▼学校体育館のエアコン設置

〔LGBT〕 Lは、レズビアンで女性同性愛者 Gは、ゲイで男性同性愛者 Bは、バイセクシャルで両性愛者 Tは、トランスジェンダーで自認する性別と出生時の性別が一致していない人のこと。LGBTとは性的少数者の総称の一つ。



日本女性会議2018in金沢分科会 (性の多様性)

### 問 職場での女性活躍を推進せよ

答 職場環境作りを推進していく



古玉いづみ 議員

〔古玉〕 ①男女共同参画推進宣言企業の参加数と町の関わり方は。特に女性の活躍推進への意識改革と労働状況改善が必要と考えるが、町の考えを問う。②町職員の女性課長職の割合は。女性リーダー育成の研修などを考えてみてはどうか。

〔総務課長〕 ②男女を問わず40種類を超える研修の機会を与えている。今後も職員の資質向上に努めていく。

〔古玉〕 女性課長職の割合が3割近いのは保育園の園長を含めているからである。行政職に限ると13・6%である。今後の女性職員の登用・活躍に期待する。

その他の質問▼ケーブルテレビの4K放送

〔町長〕 ①当町では、7つの企業が男女共同参画推進宣言企業として認定されており、特に職場内環境の改善を推進している。また、町設立の男女共同参画推進員の方が、各地区や学校などに出向き、紙芝居や朗読劇を通して普及啓発を図っている。



男女共同参画推進員の会による紙芝居



**問 小学校での道徳教育効果が失われている**

**答 家庭環境も配慮し、学習規律の徹底化に努める**



尾田 良一 議員

【尾田】 昨年の10月時点で不登校生徒は19名、そのうち13名が中学生という状態であるうえ、中学生では素行不良の生徒がいて先生も手を焼いているという。中学校では小学校での道徳教育効果がまったく失われているのではないのか。何か対応策は講じているのか。

【教育長】 中能登スタンダードを柱に学習規律の徹底を図っている。規律の意義や重要性を教えながら取り組むつもりだ。また、県から派遣されているスクールカウンセラーやソーシャルワーカーも交えて対応策を検討している。更には、児童相談所や教育研究所などの外部の関係機関とも連携して対応している。

【尾田】 対策はいろいろやっておられるが、あまり効果が上がっていないように見受けられる。一人ひとりの教師の方がどう現状に対応すればよいか分かっていないようだ。そこで提案なのだが、家庭教育の大切さをもっと親御さんに理解していただくことと、朝礼時や給食時に講話をすることで長い目で見ていくと効果のある教育が可能ではないかと思う。

その他の質問▼ALITの力量に差、教師との連携が問題。▼勝山城の保全と整備

**問 職員採用に障がい者枠を設けよ**

**答 現段階では考えていない**



林 真弥 議員

【林】 今年度、中央省庁等で障がい者の法定雇用率水増しという問題が発生した。公務員にも民間企業にもこの雇用率は定められており、その指導的立場にある厚労省までもが水増しをしていたと聞き愕然とした。当町の現状は、非正規職員を含めた法定雇用率に問題はないが、正規職員の障がい者手帳所持者はゼロとのことだ。これは由々しきことである。これを踏まえて、2020年以降の障がい者正規採用の有無を問う。

【林】 正規職員の障がい者ゼロは、恣意的にも感じるし、対外的にも胸を張れるものではない。水増し問題を受けて中央省庁では来年早々、障がい者に特化した採用試験を実施すると聞かすが、当町でも採用試験において障がい者枠を設ければどうか。

【参事兼総務課長】 現段階では障がい者枠は考えていないが、更なる雇用率の向上と環境整備に努め、公正な職員採用を行いたい。

その他の質問▼平成31年度予算編成▼公共施設の防犯体制

【町長】 行政の執行者として法定雇用率を守ることは責務であるが、町では法定雇用率を超えており、現時点で問題はない。

**問 イノシシ処分の施設化を図れ**

**答 早急に解決策を議論したい**



諏訪 良一 議員

【諏訪】 イノシシによる農作物への被害防止や軽減化を図るには、生息数を減らすことが先決である。その反面、捕獲数の増加にともない処分方法が大きな課題となりつつある。

①七尾鹿島鳥獣被害対策協議会の業務指針、②捕獲したイノシシの処分施設の整備の二点について問う。

気柵の設置や取扱方法を指導すると共に、設置後の現地確認も実施捕獲を実施している地区の捕獲者を対象に、毎年一回研修会を開催し、専門家の指導のもと、先進地の事例を踏まえ、イノシシの適切な駆除方法を指導している。

②捕獲の約90%が埋設処理されており、地区の負担は大きい。しかし、町単独で処理施設を建設することは困難。協議会等で議論し対処したい。

**問 先生の働き方改革は進んでいるか**

**答 ますます厳しくなっている**



中川 秀平 議員

【中川】 12月10日から16日にかけて毎日夜9時に小中学校の職員室の明かりを見た。土日以外はすべて職員室の電灯がついていた。働き方改革はどうなっているか。

あり、長時間勤務の状態が続く事により教職員が心身の健康を損ない、子どもたちと真摯に向き合うことが出来なくなることや、教職員を志望する優秀な人材の確保が困難になることが心配される。

【町長】 中能登町としての教育環境は県内でも特別といわれるほど充実している。

その他質問▼滝尾小学校の跡地

【町長】 ①この協議会は、中能登町、七尾市、石川県、猟友会七尾鹿島支部などの団体によって構成されており、七尾鹿島地域における鳥獣による農林業の被害を把握し、被害防止のための対策などを実施している。国の補助事業で、新規に電気柵を設置する地区に対しては、講習会を開催し、効果的な電



捕獲されたイノシシ

【教育長】 早く帰るよう努力しているが、全く仕事が減らない。逆に文科省から仕事を増やされている状況である。何とかするには教員の定数改善しか無いのではとの思いがある。当町は改革プランを作成し、タイムレコーダーの設置、留守番電話の設置、各校に校務支援員の配置、土曜授業の廃止、部活動の休養日設置、午後8時退勤とする等を行っているが、多忙感の払拭には届いていない。学校現場は教職員の情熱と献身的な努力により支えられている面が多々



中学校12月13日夜9時の職員室の明かり



# 教育民生常任委員会

## イセヒカリ米給食試食会に参加 — 3年生受験応援 —



1月31日、中能登町立小中学校の給食に中能登町で作られた「脅威の稲」「イセヒカリ」が使われました。このイセヒカリはコシヒカリの突然変異とされており、伊勢神宮の神田で見つかった米だそうです。中能登中学校では試食会が行われ、杉本町長はじめ、教育民生委員の議員、教育関係者が出席し、イセヒカリの味をかみしめていただきました。また、中能登町二宮の天日陰比咩神社でおはらいされた米を合格祈願米として高校受験をひかえる中学3年生全員に配布されました。



イセヒカリを使った献立



ランチルームで皆でいただきました

常任委員会審議内容報告

# 総務建設常任委員会

## 道の駅 織姫の里 なかのと

町から、引き続き道の駅織姫の里なかのとの指定管理者として能登わかば農業協同組合を指定したいとの説明を受けました。選定理由としては、これまで能登わかば農業協同組合のノウハウを活用し、農産物の生産拡大を推進するとともに、カラー野菜の普及、能登牛、能登豚などの販売を促進するなど、地域活性化や賑わいの創出も図りながら、適切な施設の維持管理に努めていたことから、引き続き指定管理者として選定したいとのことでした。指定期間は、平成31年4月1日からの5年間とのことでした。

### 質問：委員質疑

町内の農家の産物が少ないのではないかと。

### 回答：町答弁

農産物の割合については、28年度の49%から29年度では53%へと徐々に割合が増えてきている。



第30回記念ツール・ド・のと400での道の駅のにぎわい  
開催日：平成30年9月24日



元気な町づくりの拠点に 道の駅織姫の里なかののと

【町長】町内には、町管理の公衆トイレは、和式であることから、バリアフリーを含めたトイレの洋式改修を検討したい。  
【総務課長】町管理の公衆トイレは、公園8箇所、観光施設が7箇所、JRが4箇所のほか6箇所設置されている。また、洋式化率は、  
【町長】町内には、町管理の公衆トイレが25箇所ある。  
管理体制については、有人駅である良川駅、能登部駅は職員が、能登二宮駅はシルバー人材、金丸駅は駅振興協会がそれぞれ管理している。



能登二宮駅

その他質問▼ゆりが丘住宅前(西馬場)の横断歩道設置

【企画課長】能登二宮駅は、平成4年に建て替えられた比較的新しい駅である。金丸駅は平成17年に改修している。良川駅、能登部駅は建設後約60年経過しているため、構想計画を策定し駅周辺を含めた一体整備を前向きに検討する時期だと考えている。能登二宮駅の改修については、当面は、バリアフリーを意識した洋式トイレの改修と駅舎の修繕工事を検討したい。

男性が4割、女性が5割、内、バリアフリー対応済のものは11箇所ある。

## 問 町施設の公衆トイレを洋式化に 答 能登二宮駅トイレの改修を検討する



甲部 昭夫 議員

【宮下】今後5年間にに向けて施設管理をどのように考えているのか。

【企画課長】JA能登わかばの持つノウハウを活用し、カラー野菜の普及を初め、農業生産者の技術向上と生産拡大に努める。一般公募は行わない方向でJA能登わかばと協議を進めていきたい。安心安全な農作物づくりと活力のある元気な町づくりに大きく寄与するものと考えている。

【宮下】JA能登わかばが指定管理を受けて5年が経つが、事業成果について問う。  
【町長】能登牛や能登豚、カラー野菜といった農作物がこの地域に定着し農業の振興を図る施設として効果が広がってきた。

【企画課長】来客者数は減少しているものの売上が増加するという結果が出ている。昨年度よりどぶろく販売を開始し、順調に売り上げを伸ばしている。今年度は県内外旅行者による大型バス来場も少しずつ増加しており、5年目にしてようやく認知度が上がってきている。

## 問 道の駅の指定管理について 答 JA能登わかばと5年間継続したい



宮下 為幸 議員



### 教育民生常任委員会視察研修 委員全6人参加

平成30年11月7日から8日 視察先 愛知県半田市、岐阜県岐南町

#### 【愛知県半田市の総合型地域スポーツクラブ】

「誰でも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめるように」半田市のスポーツ振興はこの4つの理念の下で進められ、市内5中学校に各総合型地域スポーツクラブのクラブハウスを併設するという、これぞ「総合型地域スポーツクラブ」との印象を受けました。生涯スポーツの場としては、半田市民約12万人が年齢や競技の垣根を越えて一同に会することで、住民間のチームワーク構築にもつながることでしょう。中能登町において、半田市と同様の総合型地域スポーツクラブの形態がベストかどうかは明言できませんが、子どもたちや若者たちの夢や熱い思いへのチャレンジと健康長寿へ向けた施策として、



総合型地域スポーツクラブで説明を受ける

類似のスポーツシステムは早急に実現すべきとの思いであります。

#### 【岐阜県岐南町の介護予防関係の取り組み】

岐阜県岐南町は中能登町の10分の1強の面積ですが、様々な立地条件に恵まれたこともあり昭和40年代以降人口が増え続け、現在は当初の約3倍となる25,000人あまりとなっているとのことでした。年間の出生数は約300人、高齢化率22%と活気に溢れた町だとの印象ですが介護予防策にもしっかりと取り組んでおり、高齢者自らが「自助」と「互助」を実践できるよう、体操教室の普及啓発や介護サポーターの養成を積極的に行っているとの説明を受けました。（報告者 委員長 甲部昭夫）

## 石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合議会からの報告

平成30年11月21日(水) 報告者 坂井幸雄

- 【議案第2号】 平成30年度組合一般会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4369万8千円を増額し、予算総額を11億6539万8千円とする。
- 【内容】 平成29年度一般会計で生じた余剰金を財政調整基金に積立るとともに同基金の一部を取崩し、関係団体負担金の軽減を図るほか、売電収入の減収分を補填するもの。
- 【採決】 全会一致で可決

議 会

H30  
12/21

モ ニ タ ー

議会モニター・澤 良一さんと議会広報「とびら」について意見交換会を行いました。より多くの方に手に取っていただける、見やすい「とびら」となるよう貴重なご意見をいただきました。議会では、さらに町民に「開かれた議会」を目指して参ります。

#### ★モニターからのご意見★

- ①主要事項やキーワードにQRコードを活用 ②一般質問の（テーマ別）内容の層別化 ③一般質問の5段階評価 ④町民の声・アンケートの結果を議会活動に生かす ⑤全ての委員会等の活動報告の掲載 ⑥難解な言葉には注釈 ⑦議会の仕組みと流れを分かり易く解説し、町民の議会活動の理解と参画をより促す

☞「《とびら》は議会（活動）の鏡」です。議会（議員）の自由闊達な討議、より活性化が図られると町民との架け橋《とびら》もより充実しファンも増えます。紙面に「なに」を「どう伝えるか」そして議会活動を「どう理解して貰えるか」⇒皆さんの腕の見せ所です。

### 議会全体行政視察研修 議員11人参加

平成30年10月30日から31日 視察先 山梨県昭和町

#### 【議会の活性化と防災体制の取り組み】

昭和町の人口は約2万人ですが、歳入総額の55%が町税（この内固定資産税が51%を占める）となっており、水源が豊富なため精密機械等の企業誘致も功を奏し、不交付税団体となっていました。昭和町議会は平成24年3月23日、昭和町議会災害対策本部を立ち上げて以来、参集訓練、応急手当講習会、担架の作り方講習会等、議会独自で防災訓練を行っており、それらを地域住民と共有することで防災意識の向上につなげているとのことでした。更には、道路崩壊等を想定し、対策本部までの移動を各自自転車でいったとのこと、これは大いに参考になると考えます。



活発に意見交換を行う

我々中能登町議会議員も、災害時に必要不可欠な知識習得に向けた講習会等を積極的に実施し、より一層町民との意識の共有を図らなければならないと強く感じた視察研修となりました。

（報告者 議長 宮下為幸）

### 議会運営委員会研修 委員全5人と議長が参加

平成30年11月27日から28日 視察先 神奈川県葉山町

#### 【議会会議の放映】

葉山町では、全員協議会をはじめ全ての委員会が生中継及び録画による後日放映がされており、町民に議会内容を理解していただくための手法として大いに参考にすべきと痛感しました。当町では定例会議のみ中継していて、町民各位への周知や理解という点ではまだまだ薄いと考えています。当町での委員会を全て放映することについては、現時点では設備に課題はあるものの、開かれた議会の第一歩として積極的に取り組む価値が大いにあったと感じました。更に葉山町議会では、ペーパーレス化を目的にタブレットを導入しており、導入に関して多々意見があったとのことでしたが、結果的には正解だったとの説明を受け、議会改革に向け当町でも導入は必須であると考えます。

今回は議会運営委員会の視察研修でしたが、他の議員にも理解してもらい賛同を得られるように、委員長として努力していく覚悟ができた研修であったことをご報告致します。

（報告者 委員長 作間七郎）

### 総務建設常任委員会視察研修 委員5人が参加

平成31年1月31日から2月1日 視察先 岐阜県郡上市、滋賀県愛荘町

#### 【郡上市のどぶろく特区における地域活性化について】

郡上市大和町では、平成20年にどぶろく特区の認定を受け、主にどぶろく祭りの開催や全国どぶろく研究大会への参加に取り組んでいるとのことでした。全国大会では各地のどぶろく審査が行われ、製造者間のつながりや連携が図られるとお聞きしました。当町も積極的に大会へ参加し、全国のどぶろく仲間とのネットワークづくりや情報共有を行っていくことも、特区地域の大切な活動の一つではないかと強く感じたところであります。なお、来年度の全国大会は郡上市開催とのことでありました。

#### 【愛荘町の観光産業の推進について】

昨年開設した「愛知川ふれあい本陣」施設では、観光交流の拠点として、情報発信や体験交流・滞在施設等として、交流人口の拡大を目指していくとのことでした。また、伝統産業では、近江上布、愛知川びんてまりなどがあり、歴史的な職人技術が今もなお活かされており、これらの産業資源を活かし、国内外からの集客交流を図る「産業観光」の推進に力を入れているとの説明を受けました。

（報告者 委員長 坂井幸雄）



# 議会からのお知らせ

## 3月定例会議の日程

- 3月5日(火) 10:00 定例会議 開議  
〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
- 3月6日(水) 10:00 教育民生常任委員会  
13:30 総務建設常任委員会
- 3月7日(木) 10:00 予算決算常任委員会
- 3月8日(金) 10:00 予算決算常任委員会
- 3月11日(月) 10:00 予算決算常任委員会
- 3月12日(火) 10:00 予算決算常任委員会
- 3月13日(水) 10:00 予算決算常任委員会
- 3月19日(火) 10:00 一般質問
- 3月20日(水) 13:30 一般質問 (予備日)
- 3月22日(金) 13:30 全員協議会  
15:00 定例会議 最終日  
〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

ぜひ傍聴にお越しください。定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。



## レポート提出します

### 12月定例会議議員派遣

報告者：土本 稔 期 日：平成31年1月24日  
場 所：地方議員研究会 東京都内  
テーマ：財政問題から公共施設の統廃合に向けた考え方

旧町時代に建てられた類似施設の老朽化について、今後どのように対応すれば良いかと思ひ、研修に参加した。財政問題から施設の統廃合は、多くの自治体が直面する課題であった。当町における統合庁舎は全国的に特殊な問題ではなく、良く似た問題を抱える議員が多く参加していたのには、少し驚いた。老朽化施設の維持管理が将来の財政に負担が多いため、面積縮減しなくてはならない。つまり、統廃合となる訳です。このことは、町民みな理解しておりますが、自分が利用している施設は残してほしい。廃止するなら別の施設にしてほしい。正直このような意見が多数である。総論賛成各論反対を突破するには、正しい数字やデータを集める必要がある。全国の自治体の多くは、公共施設等総合管理計画を作成したが、計画に基づき実施されている個所は少ない。やはり、地区単位の感情論が大きく進まないのである。今回の研修を通じて、施設利用者数や施設の耐用年数を調べ、将来の町ビジョンと照らし合わせて進めるべきと強く感じた。

## 定例監査報告

監査の期間：平成30年10月24日、25日、26日、29日

### 1 監査の方法

書類等が関係法令や条例等に基づき処理されているか、計数は正確か、事務の執行は適正かつ効率的に行われているかを検証するため、関係書類と照合確認を行ったほか、担当課から説明を求めるといった方法で実施した。

### 2 監査の結果

各部局における事務の執行等については、概ね適正に処理されているものと認められた。事務処理上、留意すべき軽微なものについては、その都度口頭で指摘等した。

### 3 指摘事項の主なものについては次のとおり

- ① 週休日の振替等命令簿について……31年度はシステム導入すると聞けが、再度、週休日又は休日に勤務した場合の代休の考え方を全課において統一した認識のもとで取得されるよう努められたい。
- ② 滞納整理について……滞納整理に対する方針を再確認され、滞納整理機構と連携をより密にするなど、積極的な滞納整理に努められたい。
- ③ その他……出張時にやむをえず自家用車を使用する場合は、「町自家用車の公務使用に関する要綱」に基づく手続きを行い執務にあたられたい。



# 議会活動報告 11月から1月までの議会活動

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻  
―…委員外 公…公務  
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき



さまざまな会議の議員の出欠状況をお知らせします。

月 日	会議名	古玉 づみみ	尾田 良一	土本 稔	林 真弥	中川 秀平	笹川 広美	南 昭榮	諏訪 良一	宮下 為幸	甲部 昭夫	坂井 幸雄	作間 七郎
11月5日	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	—	—	オ	○	○	○
11月6日	庁舎統合建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
11月9日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	×	○	—	—	オ	—	—	—
11月12日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
11月13日	教育民生常任委員会	○	○	—	○	○	—	○	—	オ	○	—	—
11月13日	総務建設常任委員会	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
11月26日	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	—	—	オ	○	○	○
11月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月30日	11月随時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月5日	12月定例会議 初日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	教育民生常任委員会	○	○	—	○	○	—	○	—	オ	○	—	—
12月6日	総務建設常任委員会	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
12月7日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月7日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月14日	12月定例会議 一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月14日	総務建設常任委員会	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
12月17日	12月定例会議 一般質問	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○
12月18日	予算決算常任委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月18日	教育民生常任委員会	○	○	—	×	○	—	○	—	オ	○	—	—
12月18日	総務建設常任委員会	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
12月18日	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
12月18日	12月定例会議 最終日	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
12月21日	議会広報特別委員会	○	○	×	○	○	○	—	—	オ	—	—	—
12月25日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
1月8日	全員協議会 (議員)	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
1月8日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	オ	—	—	—
1月15日	教育民生常任委員会	○	○	—	○	○	—	○	—	オ	○	—	—
1月15日	総務建設常任委員会	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
1月25日	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	—	—	オ	○	○	○
1月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 議会運営委員会

- 11月5日開催 —
- ▶ 随時会議と12月定例会議日程など協議
- 11月26日開催 —
- ▶ 定例会議議案
- ▶ 陳情書
- ▶ 議会費の31年度当初予算などについて協議

### 議会行革・活性化特別委員会

- 11月12日開催 —
- ▶ 子ども議会
- ▶ 議会報告会 などについて協議
- 12月7日開催 —
- ▶ 子ども議会 について協議
- 12月25日開催 —
- ▶ 議会報告会の回答について協議

### 議会広報特別委員会

- 11月9日開催 —
- ▶ とびら第17号の表紙選定や掲載内容を確認
- 12月21日開催 —
- ▶ 議会モニターとの意見交換会
- 1月8日開催 —
- ▶ とびら18号の掲載内容を協議し誌面の役割分担を行う



ありがとうございます

# 家族の声

能登部下にお住まいの  
境さんご一家

## 質問1、中能登町の魅力は？

子どもの医療費窓口無料化、保育料の減額制度がとて魅力です。子どもが3人いるのでとても助かっています。あとは若い方の移住が増えて町の人口が減っていないところです。

## 質問2、3世代家族の良さは？

自分たちが仕事の時に、保育園の送り迎えや子供の世話など、家族なので安心して任せられるところです。

## 質問3、中能登町が将来どうなっていて欲しいですか？

子育てに対してとても充実しているので、5年・10年たってもその良さを継続してよりよい町になって欲しいです。

## 質問4、現在の教育についてどう思いますか？

家には小学校低学年が二人いますが、先生方はとてもよくしてくれていると思います。ただ核家族が増える中、学童クラブがもう少し安心して預けやすくなれば良いと思います。

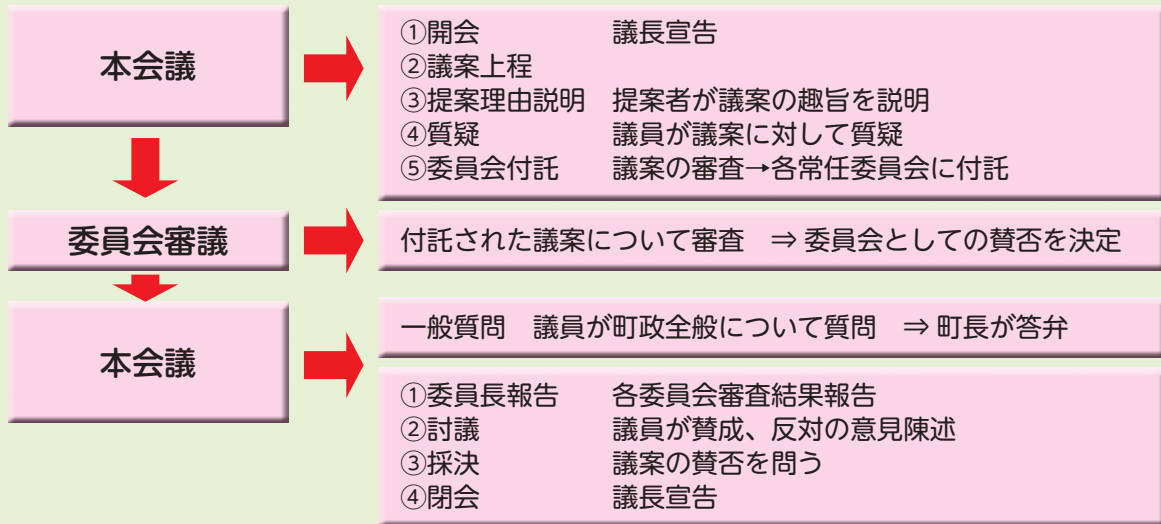
## 質問5、中能登町の行事はどうですか？

町祭である「織り姫夏ものがたり」や紀宝町との交流、台湾との交流、また最近始まったハロウィンイベントなど、子供からお年寄りまで参加しやすい行事が多彩にあり、とても良いと思います。



## 議会をよりわかりやすくPart1

### 3・6・9・12月に開かれる定例会議の基本的な流れ



### 【議会広報特別委員会】

委員長 林 真弥  
副委員長 古玉いづみ  
委員 菅川 広美  
中川 秀平  
土本 稔  
尾田 良一

### 編集後記

「うーん、なるほど」と議員、執行部を唸らせる質問が相次ぎました。昨年度の中学3年生による「ごとも議会」。「ゴミ問題」への取り組みを正した質問は、子ども達作成の「ポイ捨て禁止標語・ポスター」で大きな啓発が図られました。「僕たちの声が、地域を変える！」子ども達に政治を身近に感じてもらい、子ども達が、世界を、未来を拓く力を育んでいく中能登町議会でありたいと思います。今年度も12月、小学6年生による「ごとも議会」が、元気一杯に開催されました。

議会広報委員 菅川 広美



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA：環境保護印刷推進協議会